



TWEET

息子に与えてもらったもの

私は最近、昔よりずっと素直になったと感じます。両親からは「出産して働いてた頃よりずいぶん表情が柔らかくなったね」と言われました。それは1歳になる息子のおかげだと思います。息子をぎゅーっと抱きしめてるだけで心穏やかになれるし、公園で遊ぶ時は私も童心に戻って楽しんだり、素の自分でいられるからです。息子の前では全力で歌ったり踊ったりものまねをしたり、普段人には絶対見せない自分もたくさん顔を出します。息子はいつも大ウケしてくれるし、そんな時は私も心から笑っています。それは、難しいことを考えることもなければ駆け引きもないとても幸せな空間です。

独身時代、必死で働いていた頃はこんな穏やかな日々が自分に訪れるとは想像もできませんでした。私が新卒で入社した会社はほとんどが男性で、配属された部署は私が初めての女性社員でした。入社初日に上司から言われたことは「女だからって『だから』と『でも』は言うな」でした。女性一人では危険な力仕事もなし、「クレームを処理できなくて上司に回すやつは仕事出来ないやつ」と言われて出向いた先では「女に謝られても何の足しにもならん」と言われて必死で頭を下げたこともあります。頑張ってる売り上げた数字が先輩の成績に書き換えられていたこともありました。その職場では女性であることが損のようでした。もちろん私も同じお給料を頂いている以上、女だからこの仕事は出来ませんとかは言いたくありません。同じ仕事をして、もし私が男ならもっと評価されるのにと感じていました。『男性社員に負けたくない』と意気込む私は『一人で大丈夫ですオーラ』全開で、もし手を差し伸べてくれる人がいたとしても近寄り難い存在だったと思います。

両親や友人にも弱音を吐くことはできませんでした。一度泣いて誰かに頼ってしまうとそれまで必死に積み上げたものが一気に崩れてしまいそうな気がしていたからです。それに両親には心配をかけたくなかったし、友人には、いつもしっかりしていて明るい子というキャラクターを守りたかったんだと思います。

けれど初めて子育てを経験して、自分一人だけでは絶対に無理だと痛感しています。両家の両親には甘えさせてもらってる部分が多々あるし、先輩ママである友人には弱音を吐くことで子育てのヒントを貰えることもあります。主人に対しては勘違いやストレスで一方向的に責めてしまうこともありますが、怒らずに私が謝るまで待ってくれます。その姿勢に感謝しています。以前より私が彼を頼り素直に「ありがとう」「ごめんなさい」を言うように努めていることが伝わっているのか、新婚時代はしなかった家事も手伝ってくれるようになりました。息子がお風呂場での水遊びを全く止めなくて、あきらめて飽きるまで待っていた時も「ママは見守る仕事ご苦労様。子どもが安心して遊べるって大事やで」と声を掛けてくれました。こういうさりげない一言に元気付けられることもあります。

あの頃は損だと思っていた女性だからこそ母親になれて、強がらずに素直に生きる大切さを息子と主人に教えてもらいました。会社員時代も、もっと周りを頼っていればもう少し楽に仕事が出来たのだろうけど、あの経験があったからこそ気付けることもあり、無駄にははいけないなと思えます。

逆に息子には『男だから弱音を吐くな』とか『男だからこう』という教育はしたくないなと考えています。辛いことがあった時素直に話せる家庭の雰囲気を作りたいです。そして性別関係なく個人を尊重してあげ、のびのび成長して欲しいなと願っています。

N.S

このコーナーはぐるんぱママの「つぶやき」を随時掲載します。お楽しみに！投稿も大歓迎です！